令和７年度　ふじえだ型ピア・サポート活動の取り組み

『心を込めて聴く・話す』

藤枝市立高洲中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
４月	・学級開き、学年開き ・１年生を迎える会	① 学級活動の時間を活用して、人間関係作りプログラムを通してピア・サポートのスキルアップトレーニングをする。 ② 年間を通して、全校生徒が特別支援学級との交流通してピア・サポートの意識を高めていく。 ４・５月 ・コミュニケーションスキルの基礎・基本を学ぶ。 ６・７月 ・聴く：友達の話を正確にメモ出来るように聴く。 ・話す：結論→理由を意識して話す。 ９・１０月 ・聴く：友達の考えと自分の考えを比べながら聴く。 ・話す：聞き手のつぶやきや表情を読み取って話す。 １１・１２月 ・聴く：相手がそう思った理由を考えながら聴く。 ・話す：自分の意見の根拠をわかりやすく話す。 １・２・３月 ・聴く：話す人の立場や思いやりに添って聴く。 ・話す：聞き手の反応を確かめながら話す。	○年度初めに藤枝型ピア・サポートについての説明を全職員対象に行い、共通理解を図る。 ・ピア・サポートのとらえ方。 ○『心を込めて聴く・話す』を中心した教育活動を、年間を通じて展開する。 ・「話す・聴く」のコミュニケーションスキルのねらいや内容を年度当初に確認し、生徒の活動の様子を共有していく。 ・授業や部活動の中でピア・サポート活動を推進していく。 ○校内研修会で伝達講習を行う。
５月	・学年行事 ３年生：修学旅行 ２年生：職場体験 １年生：地域探訪 ・色(団)決め式		
６月	・縦割り歌声(校歌)活動 ・学年行事コラボ発表会 ・拡大評議員会		
７月	・TCS あいさつボランティア		
８月			
９月	・体育祭結団式 ・体育祭団別練習		
１０月	・体育祭決起集会 ・体育祭 ・虹フェス（生徒会企画） ・交歓合唱 ・合唱祭		
１１月	・拡大評議員会		
１２月			
１月	・新入生入学説明会		
２月			
３月	・３年生を送る会 ・TCS あいさつボランティア		

１　本校のピア・サポート

ピア・サポート活動は、相手を思いやり、相手の立場に立ちながら人間関係を築いていく活動である。高洲中学校では、その中でも特に、特別活動行事部で取り組んでいる縦割りの関わりを中心として取り組んでいる。

年度当初に組む縦割りの団を活用した関わりの中で、上級生は下級生を思いやり、責任を持ってリードし、下級生はそういう先輩の姿を見て、あこがれを抱き、上級生を目標に努力していくお互いの活動が集団の向上に働くと考えた。また、授業等で、『心を込めて聴く・話す』活動を継続していくことによって、縦割り活動でも実践することができると考えた。

２　本年度の取組

（１）授業において

本校のテーマが「心を込めて聴く・話す」であるため、授業終了後に行う授業評価の項目に「聴く・話す（態度)」を設定して毎授業後に生徒が振り返りを行った。また、その評価を背面黒板に掲示したり、帰りの会で共有して改善点などを話したりすることで、生徒たちが「聴く・話す」について考える時間ができ、教員も生徒たちもピア・サポートを実践しているかを確認できた。

（２）特徴的な活動

【縦割り集団を活用した、上級生によるサポート活動】＜提言６＞

本校では縦割り集団の活動を活用した「校歌サポート」「学校行事コラボ発表」「体育祭」「合唱祭(交歓合唱)」を行った。月に行う「校歌サポート」では上級生が下級生と校歌を歌い合い、アドバイスをする活動である。この活動によって上級生は、下級生を教え助けようという気持ちが生まれた。６月に行った総合の発表は昨年度から行い、今年度も継続して行うこととなった。1 年生は「地域探訪」、２年生は「職場体験」、３年生は「修学旅行」について、３学年が混ざった４人班を作り発表をした。各学年、タブレット上のスライドを見せながらの発表で、１，２年生は上級生の話を真剣に聴き、未来の自分と重ねながらコメントをしていた。３年生は下級生の話を頷きや相槌をしながら優しく聴く姿が見られ、ピア・サポートの心が自然と生まれていた。

体育祭では各団リーダーが下級生の教室に行って種目内容の説明を行ったり、種目練習の計画立案や進行を行ったりした。練習では３年生の種目リーダーが練習内容を説明し、競技で勝つためにはどのようにしたらよいか下級生にアドバイスをすることで、「団」というつながりを深めた。また、今年度はこれまで学年対抗種目であった「台風の目」を縦割り種目に改めた。３学年が混合となるため運動能力の差が心配されたが、上級生が下級生のことを思いやって練習を進める姿が見られた。下級生は上級生の頑張りに協力する気持ちが生まれ、互いに助け合う精神が高まっていた。

【ピア・サポートを生かし校外の人と触れ合う活動】＜提言８＞

本校では「TCS 活動」というあいさつボランティア活動がある。希望者は登校前の朝の時間に出身小学校の校門で挨拶をする。明るく気持ちのよい挨拶を小学生へ届け、挨拶の素晴らしさを児童や地域に広げている。

３　本年度の成果と来年度に向けて

本年度は特別な行事だけでなく、総合的な学習の時間や校歌練習でも縦割り集団を活用したピア・サポートを行うことができた。また、授業評価にピア・サポートに関する項目を入れて生徒だけでなく教員にも本校のテーマである「心を込めて聴く・話す」を意識づけることができた。

来年度は縦割りの活動をさらに増やしたいと考えている。学習や清掃、挨拶など行事以外の活動も縦割りで取り組む時間を設け、ピア・サポートの輪を学校全体に広げた。